

産第 19 号様式

(第 1 面)

産業廃棄物の処理に関する試験計画書		年 月 日
(あて先) 八戸市長		
試験実施者 住 所 氏名・名称 電 話 F A X		
① 試験研究のテーマ		印
② 試験研究の期間 (予定)	年 月 日 ~ 年 月 日	
③ 試験研究の実施場所	住 所 : 事業所名 (ある場合) : 電話番号 (ある場合) :	
④ 試験で使用する (特別管理) 産業廃棄物の種類及び処理量		
⑤ 試験研究の方法	乾燥 焼却 油水分離 中和 破碎 その他 ()	
⑥ 試験研究の実施者 (3名以上いる場合は別紙)	担当者 所属 職 氏名	
	電話番号 FAX	
⑦ 共同で試験研究を行う場合はその者 (3者以上いる場合は別紙)	担当者 所属 職 氏名	
	電話番号 FAX	
備考 (記載不要)		

(第2面 試験研究の内容)

<p>①具体的な内容</p> <p>1) 学術研究又は処理施設の整備若しくは処理技術の改良、考案若しくは発明の内容</p> <p>2) 試験研究により予測される数値等</p>	
<p>②この試験研究の結果により想定される今後の事業展開等</p>	
<p>③当該産業廃棄物を処理することにより、有価物を生成し販売することを想定している場合は、その有価性、使用目的、販売先及びその見込み</p>	
<p>④同様の試験研究が既に実施されていることの有無、もし有りの場合、その結果を踏まえた当該試験の実施の必要性</p>	

(第3面 試験研究に使用する(特別管理)産業廃棄物について)

①排出事業者	(排出事業者) 住 所 氏名・名称 担 当 者 (排出する事業場が別の場所の場合その事業場について) 住 所 氏名・名称 担 当 者 電話 電話
②使用する(特別管理)産業廃棄物 1)種類 2)性状 3)排出過程、現状での処理方法	
③入手方法(購入、無料提供等)及び試験研究場所までの運搬費の負担者。購入する場合は購入単価	
④性状の確認方法及びその頻度 行わない場合はその理由	分析項目： 頻 度： (理 由)
⑤排出元から施設までの運搬方法 (容器・専用車使用等)	
⑥施設内での保管場所 保管しない場合はその理由	住 所： 最大保管容量 m ³ 保管場所面積 m ² 住 所： 最大保管容量 m ³ 保管場所面積 m ² (理由)

※) 試験研究に使用する(特別管理)産業廃棄物が複数ある場合は、その種類毎に作成。

(第4面 試験研究に用いる施設について)

①施設の種類、最大処理能力及び処理可能な産業廃棄物の種類 (許可施設の場合、許可番号と許可年月日)	a) 施設 (許可施設： 年 月 日付け 第 号) 産廃 種類	$m^3 \cdot t / 日$
	b) 施設 (許可施設： 年 月 日付け 第 号) 産廃 種類	$m^3 \cdot t / 日$
	c) 施設 (許可施設： 年 月 日付け 第 号) 産廃 種類	$m^3 \cdot t / 日$
②施設の設置について	(設置の方法) 1 既設 2 新設 3 その他	
	(使用後の施設について) 1 継続して設置 2 撤去 3 その他	
③施設の使用権原について	1 購入等 2 レンタル 3 その他	
④関係法令について	1 全て協議済み 2 現在協議中のものあり () 3 その他	
⑤施設の設置場所		
⑥施設設置場所の使用権原	1 土地所有者から既に了解を得ている 2 現在協議中 () 3 その他	
⑦施設の環境測定的项目及びその頻度 実施しない場合はその理由 (足りない場合は別紙に記載する)	① (大気、水質、騒音・振動、悪臭) 分析項目： 頻 度： ② (大気、水質、騒音・振動、悪臭) 分析項目： 頻 度： (理 由)	

(第5面 全体処理フロー (廃棄物の発生から、試験研究後の廃棄物の最終処分等まで))

処理フロー	実施者区分	実施者記載場所

※) 分析業者や運搬業者が同一の場合は、既にかいた第6面の番号を記載する。

(第6面 全体処理フローに出てくる事業者について)

①	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
②	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
③	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
④	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
⑤	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
⑥	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
⑦	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
⑧	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
⑨	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
⑩	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel
⑪	事業者種類 (収集運搬業者 処分業者 分析業者 その他 ()) 住 所: 氏名・名称: 担当者 許 可 番 号: 許可年月日 tel

※) 許可番号・許可年月日は産業廃棄物処理業者のみ記載。

足りない場合は複写するか、別添として一覧表を作成してもよい。

(第7面 その他)

①使用する（特別管理）産業廃棄物の量が必要最低限である根拠	
②試験研究を行う期間が必要最低限の期間である根拠	

(必要添付資料)

①事業のスケジュール表	準備、施設の設置、使用する（特別管理）産業廃棄物の性状検査、試験（複数回おこなう場合は各々について）、施設の環境測定、生成物の分析、施設の撤去、報告等必要事項全てについて記載したもの。
②事業実施場所の位置図	縮尺が小さく大体の位置が分かるものと、縮尺が大きく詳細な位置が分かるもの。
③場内の配置図、室内配置図	事業場内でのその試験研究施設が配置されている建屋の場所及びその建屋内での試験研究施設の場所が分かるもの。
④施設の構造図及び処理フロー	施設の構造が分かる図面とその処理施設内での処理する工程が分かるもの。（表及び簡易なフロー図）
⑤使用する（特別管理）産業廃棄物の保管場所の図面及び保管容量計算書	使用する（特別管理）産業廃棄物は廃棄物処理法の保管基準が適用されるので、その場所が寸法入りで図示された配置図及び、その保管上限の計算がわかるもの。
⑥施設の許可証の写し	その施設が廃棄物処理法第15条第1項の許可を取得している場合はその許可証の写し。
⑦使用する施設が生活環境に影響を与えないことを示す書類	1)以下に示す条文の各基準のうち、使用する施設が該当する部分について、その基準に適合していることがわかるもの。 廃棄物処理法第12条第1項、第2項に基づく処理基準 （特別管理産業廃棄物の場合は同法12条の2第1項、第2項） 廃棄物処理法第15条の2第1項に基づく構造上の基準 廃棄物処理法第15条の2の2に基づく維持管理上の基準 2)大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭の各項目のうち必要な項目について、既存の施設若しくは類似施設の環境測定結果若しくは環境負荷の計算書を添付し、各項目について生活環境への影響が無いことがわかるもの。
⑧使用する（特別管理）産業廃棄物の入手に係る書類等	購入若しくは無料提供等の契約書等（廃棄物には排出事業者責任があるため、何らかの証明をもらうこと。また、試験・研究終了後排出事業者にはその旨報告を行うこと。）
⑨委託する収集運搬業者及び処分業者の許可証の写し	使用する（特別管理）産業廃棄物、試験後の生成物又はその残さの処理を委託する場合は、委託する業者の許可証の写し。
⑩⑨の業者と締結した委託契約書の写し	産業廃棄物の委託基準に基づく委託契約書の写し。
⑪施設の使用権原を証明する書類	施設をリース・レンタルにより使用する場合は、使用権原を証明できる賃貸借契約書等の写し。
⑫施設の設置場所の使用権原を証明する書類の写し	土地を借地して使用する場合は、使用権原を証明できる賃貸借契約書等の写し。

記 載 内 容 説 明	
第1面	① 試験研究のテーマを記載してください。内容の詳細については第2面で記載してもらうこととなります。
	② 試験研究を実際に行う予定の期間を記載してください。提出日と近い場合は、審査の期間もあるため、予定期間を変更しなければならないこともあります。
	③ 実際に試験研究を行う場所の住所を記載してください。どこかの事業場でおこなう場合はその名称と電話番号を記載してください。
	④ 廃棄物処理法第2条第4項及び第5項の区分に従って記載してください。 (例 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ・・・)
	⑤ 試験研究の主たる処理の方法について記載してください。
	⑥ 実際に試験研究を行う担当者について記載してください。 3名以上いる場合は別紙としてください。
	⑦ 共同で行う者がいる場合は、記載してください。 3名以上いる場合は別紙としてください。
第2面	① 1)については、試験研究のどのような点が通知の内容に該当するのか、記載してください。 2)については、試験研究の目標、得られる成果等について、具体的な数値で記載してください。(1),2)はまとめて記載してもかまいません。)
	② この試験研究が成功した場合、将来的な事業展開をどのように計画してるか記載してください。
	③ 生成物を有価物として取り扱うことを想定している場合、その性状、排出の状況、通常の取扱い形態、現在の取引価値の有無等について記載してください。
	④ 同様の試験研究が既に他者によって行われていることの有無について記載し、有りの場合は今回の試験研究の必要性が判断でき、不正な産業廃棄物の処理を目的としたものでないことが確認できる内容を記載してください。
第3面	① 使用する(特別管理)産業廃棄物を排出する事業者及び本社と事業場があり、事業場から排出される場合は、その事業場についても記載してください。
	② 1)使用する(特別管理)産業廃棄物の種類を記載してください。 2)使用する(特別管理)産業廃棄物の性状について記載してください。(固体・液体、腐敗物かどうか、何が含まれている等) 3)使用する(特別管理)産業廃棄物の排出課程、現状での処理方法等について記載してください。別添にして、フロー図でもかまいません。
	② 使用する(特別管理)産業廃棄物の入手方法及び取扱い形態等について記載してください。
	③ 使用する(特別管理)産業廃棄物の試験前の状態の分析項目等について記載してください。(頻度については、「試験前に1回」、「ロット毎に1回」等)
	④ 使用する(特別管理)産業廃棄物を試験・研究場所まで運搬する際に、どのような方法で運搬するか記載してください。
	⑤ 使用する(特別管理)産業廃棄物を保管する場合はその場所や保管上限等について記載してください。

記 載 内 容 説 明	
第4面	① 使用する施設の種類、能力について記載してください。「産廃種類」欄は、その施設が処理できる(許可のある)産業廃棄物の種類を記載してください。
	② 使用する施設の設置及び試験終了後の施設をどうするのか記載してください。
	③ 使用する施設の使用権原について記載してください。
	④ 関係する環境法令や条例、設置する場合は開発行為などの法令について、既に協議済みかどうか記載してください。
	⑤ 施設を設置する場所の住所を記載してください。
	⑥ 試験研究を行う場所が他者の所有する土地であった場合、土地所有者から了解を得ているかどうか記載してください。
	⑦ 使用する施設が実際に稼働中に環境への影響がないかどうか確認するための環境測定項目とその頻度を記載してください。
第5面	全体の処理フローを記載してください。(記載例参照)
第6面	第5面に出てくる各事業者について記載してください。許可番号、許可年月日は産廃の許可業者のみ記載してください。
第7面	① 使用する(特別管理)産業廃棄物が必要最小限であることの合理的な説明を記載してください。
	② 試験研究を行う期間が必要最低限であることの合理的な説明を記載してください。

(第5面 全体処理フロー (廃棄物の発生から、試験研究後の廃棄物の最終処分等まで))

(記載例)	実施者区分	実施者記載場所
試験研究対象物発生場所	排出事業者	第3面①
↓ 試験対象物運搬	運搬業者	第6面①
↓ 試験研究対象物性状分析	分析業者	第6面②
↓ 試験研究対象物の運搬	運搬業者	第6面③
↓ 試験研究実施場所		
↓ 試験研究実施	試験実施者	第1面⑥、⑦
↓ 試験研究施設の環境測定	分析業者	第6面②
↓ 試験研究による生成物及びその他残さ		
↓ 生成物の運搬	運搬業者	第6面④
↓ 生成物の性状分析	分析業者	第6面②
↓ 生成物の運搬	運搬業者	第6面④
↓ 中間処理業者	処分業者	第6面⑤
↓ 残さの運搬		
↓ 最終処分業者	処分業者	第6面⑥

※) 分析業者や運搬業者が同一の場合は、既にかいた第6面の番号を記載する。